国産純粋種豚改良協議会　認定銘柄豚試食&アンケートイベント　開催報告

1.イベント主旨　国産純粋種豚改良協議会として、消費者他一般の方まで対象とした初めてのPRイベントとして、食べ比べなどは実施しせず、1認定銘柄豚肉を試食してもらい、アンケートに回答してもらう方式。協議会・協議会認定銘柄豚とその活動などをまず知っていただくことに重点を置く

2.イベント実施日時　　令和7年11月29日(土)　11:00～15:00

3.イベント開催場所　ベルサール秋葉原　1F　　〒101-0021 東京都千代田区外神田３丁目１２-８

4.天気　晴れ　最高気温　15℃　最低気温　9℃

5.イベント実施方法
・令和7年11月29日時点の認定銘柄豚17銘柄より、今回のイベント提供確認を全員に取り、希望のあった7銘柄で実施した。(詳細は次頁)また、試食提供豚肉は送料等含めて国産純粋種豚改良協議会で買い上げ
・7銘柄を順番に1銘柄ずつ提供。試食をお渡しする際、アンケート参加チケット(Googleフォームアンケート用QRコード)を渡す。
・アンケート終了後、参加チケットと引き換えで、協議会認定銘柄豚PR・7銘柄PRチラシ、協議会オリジナルマイクロファイバークロス、福島県養豚協会提供のオリジナルウエットティッシュをワンセットにしたものを渡す。
・試食は屋外提供。キッチンカーにて調理。焼き肉、味付けなしで提供。部位は原則ロースで試食はひとり50g程度(希望者用に岩塩を置いておき、必要な方のみ使っていただく)
・試食提供豚肉のPR A1パネルを作成し、提供時に認定証と共に会場に展示
・試食提供豚肉提供時にその関係者が会場にいる場合、豚の帽子及び『わたしが生産者です』というカードを下げ、試食をしている方々の質問対応など依頼
・Googleフォームアンケートは7銘柄とも質問内容は同じものとし、後日集計(別途配布)。また、アンケート参加者より10名に抽選で認定銘柄豚の加工品もしくは精肉セットを発送する。この賞品・送料等も国産純粋種豚改良協議会で対応。発送は1月を予定。

6.今回は試食豚肉提供者に会場来場を条件としない。

※国産純粋種豚改良協議会単独イベントではなく、(一社)日本養豚協会　ジャパンポークフェスティバル　俺たちの豚肉を食ってくれイベント会場にて実施した。

今回提供した7つの認定銘柄豚と配布タイムスケジュール

試食配布時間（予定）		認定番号	認定日	銘柄豚名	交配など	生産農場情報			種豚導入元		その他
									雌	雄	
10:50～12:30(終了)	1	第8号	2023/2/28	甘い誘惑	中ヨークシャー純粋	株式会社堀江ファーム	堀江　光洋	千葉県富里市	有限会社TOPICS自家産	農事組合法人富士農場サービス自家産	平成25年6月14日商標登録取得済第5590066号
	2	第11号	2024/6/6	京丹波ぽーく	LW×D WL×D	株式会社　岸本畜産	岸本　大地	京都府船井郡	自家産	自家産	平成30年1月19日商標登録取得済第6011694号※「京丹波ぽーくBASIC」にて取得
	3	第2号	2022/1/20	LYB豚	LY×B	農事組合法人富士農場サービス	桑原　康	静岡県富士宮市	自家産	農事組合法人富士農場サービス	平成30年2月23日商標登録取得済第6022416号
	4	第15号	2025/11/11	ほそやのまる豚	LW×D	有限会社　ほそや	細谷　広平	群馬県渋川市	株式会社サンエスブリーディング	株式会社サンエスブリーディング	平成28年8月5日商標登録取得済第5871948号※「まる豚」にて取得
13:30～15:00(終了)	5	第7号	2023/1/5	天城黒豚	バークシャー純粋	株式会社たかはしMBP	金子　渉	静岡県伊豆の国市	自家産（株式会社たかはしMBP）	株式会社シムコ	
	6	第10号	2024/5/14	くまもとの赤ぶた	デュロック純粋	熊本県立熊本農業高等学校	畜産課講師松本　凌弥	熊本県熊本市	淋種豚場淋博道	淋種豚場淋博道	ー
	7	第13号	2025/5/27	舞　豚	D×B	株式会社　舞豚	中村　臣助 中村　守孝	長崎県島原市	自家産	自家産	平成28年8月5日商標登録取得済第5871169号

イベント開催においてご協力いただいた協議会会員・関係者

本イベント開催に対し、協議会会員・関係者の皆さんに大変お世話になりました。

①Googleフォームアンケート制作（発案・検討・作成・アンケートとりまとめなど）　7名

②試食アンケート参加チケット作成　1名

③オリジナルマイクロファイバー制作（発案・検討・図案・入稿用データ作成など）　6名

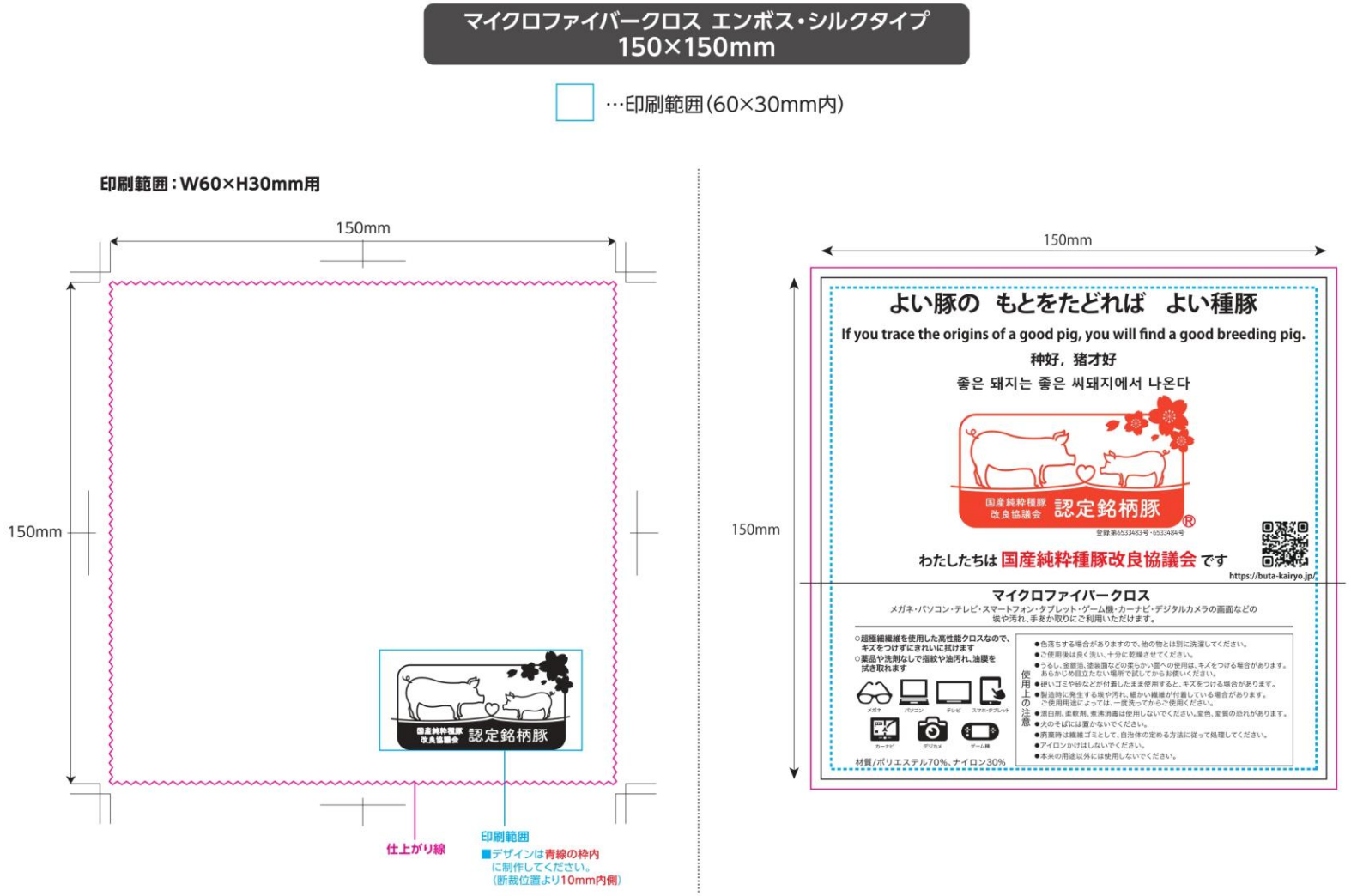
④オリジナルウェットティッシュご協賛　福島県養豚協会　様

⑤イベント会場対応（企画・前日準備・キッチンカーにて調理・来場者対応・試食豚肉対応）19名

ありがとうございました!!

その他の協議会会員の皆様、、ジャパンポークフェスティバルスタッフ参加者の方にも多数、ご協力をいただきました。
この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

作成物　オリジナルマイクロファイバークロス　500枚



どのクロス生地の色を選んでも、印刷技術上ロゴマークを赤色で印刷することができませんでした。よって、今回はロゴマークを黒にて印刷。
なお、入稿がイラストレーターファイル限定やトンボ線など高度な技術を要求されたため、某協議会会員にほぼ対応してもらいました。本当に感謝です!!ありがとうございました。

なお、クロスの色は薄いクリーム色です。

作成物　試食豚肉PRチラシとA1パネル

作成物　試食豚肉PRチラシとA1パネル

写真「伊豆食べる通信」

実施後の意見・改善点など

・初めてにしては盛況に終わったのではないでしょうか?
・ただ、イベントとなると、どうしても準備に多大な労力がかかります。これをまずは分散させることが必須だと考えます。
・国純会の活動ですから、生産者会員のみならず、関係各所の協力も絶対的に必要と考えます。
・今回の初回イベントをキッカケに今後、肉付けしていければと思います。
・いい企画だったと思います。初回としては上出来では!
・肉焼き担当の方々は手際よく、良かった!
・肉の提供の仕方(味つけ)➡味付け無しと塩を比較してもらうなど。
・提供する量(皿数)が銘柄によって違った?

・「俺豚」(本体イベントを指す)全体に昨年より人が少ない気がしました。
・キッチンカーがすくなかったせい?(お腹を空かしている人が結構いると思います)

・国純会のブースは盛況だったので、開催して良かったのではないかと思っています！銘柄豚の美味しさも伝わったと思います。
・種豚の写真なども配布されていたようですし、消費者相手へ今できるアピールはできたのではないでしょうか。
・消費者に対し、ここから一歩進んで、国産純粋種豚や血統登録ひいては種豚の改良を理解してもらうのは中々ハードルが高そうですが、他のハイブリッドとは違うという差別化の部分で、何かアピールできればと思います。今は大した案は何も思いつきませんが、例えば、全国の関連イベントにこちらから出向き、今回のような国純会の系統を肉や写真、映像などで地道にPRしていく(農業高校の高校生のリクルート含めて)とかでしょうか。

・私個人は豚肉・養豚に多く触れる機会があり、生産者・豚さんの有難みをよく理解しているのですが、まだまだ一般消費者の理解が追い付いていない
状況かと思われます。
　一生賢明努力されている生産者の豚肉に対して、更に付加価値をつけ、消費者が理解し、喫食するサイクル作りが今回のようなイベントで啓蒙出来れば考えております。

	部位	スライス厚	荷姿	気づいた点
A	ロース	5mm	冷蔵	
B	カタロース	厚い	半解凍	一番厚かった。解凍が不完全だったためか、焼いている最中に肉汁ではないドリップ(アク)が多く、ホットプレートの火力が低下。
C	ロース	3～4mm	冷蔵	さっぱりしていた
D	ロース	薄め	冷蔵	焼く前は脂が真っ白だが、焼くと綺麗な透明に
E	カタロース	3～4mm	冷蔵	焼くと縮みが多いのが気になった
F	カタロース	5mm	冷蔵(解凍)	袋内のドリップが多いのが気になった。他のカタロースと比較して焼いても縮まない
G	バラ	薄め	半解凍	焼きやすい

・各銘柄により枚数のばらつきがあり50食提供できないもの、スライスが薄く提供過多となったものがあった。
→次回は総重量(2.5kg)ではなく、枚数(50枚)で準備をしてもらった方が良い。
・今回、ホットプレート2台、調理担当2名、カット・盛付1名の合計3人は調理チーム必須と感じた。
・5mm厚は焼くのに時間がかかったが、50食を提供(盛付けるまで)するのに15分程度。
・事前に冷蔵庫がから出し、常温に近づくようにした。
・部位、スライスが統一され、3mm厚程度であれば提供量を増やすか、食べ比べ(同時に2銘柄提供)が可能かもしれない。
※ただし、試食の配布、アンケート、資料・景品の配布は考慮していない。

・1日調理担当をして、豚肉の脂に疲れるかと思っていたが、案外平気だった→7銘柄とも上質な脂??

【今回初の試みということもあり、あらかじめイベントとして用意されていた本体企画の一部分を間借りして実施したため、様々な制約があったり、取り組み方法の疑問もあった。】

①他の国産豚肉との食べ比べ企画ができない。

②協議会イベントのPR方法→協議会ホームページ掲載、養豚記者会にお知らせ等は実施できたが、本体イベントにおける協議会イベントの立ち位置がよく周知できず、結果、本体イベントのPRには一切掲載されていなかった。一部試食提供豚肉のファンや事前に協議会イベントに関心を持っていただいた方からは、この点にクレームをもらっている。

③当初協議会でキッチンカー1台を借りるという話が、本体イベントの都合なのか？詳細説明を受けないまま福島県養豚協会と共同利用となった。そうなると、協議会だけが希望通りに使いたいというわけにもいかず、結果として福島県養豚協会にもご迷惑をおかけした点があったのではないか？と心配している。

④終日（準備を入れて2日間）都内・秋葉原駅前のスペースを協議会単独で借りてイベントを実施するには課題も多く、その点では、間借りをさせてもらい、まず実施したことについては収穫があったと思う。

⑤イベントの大前提として、消費者にとにかく試食をしてもらうことなのか？少々手間だと思われても、協力してもらえる消費者にターゲットを絞って試食のアンケートを実施するのか？など、もう少し焦点を絞って実施し、そこもきちんとPRしていかないと、誤解を与えてトラブルになることが想定される。
※例→あきらかに小学校就学前の子供2人、ベビーカーが無いと移動が大変な年齢の子供を1人連れた家族（父母）が、人数分の試食を寄越せと言ってきたので、アンケートをお願いしていることを説明したが、本体イベントが『とにかく配布すること』が主旨だったため、勘違いされたようであった。こういうケースが少数ではなかったため、50食≒すべてアンケート回収と行かなかった要因の1つ。

⑥試食後アンケートをやってもらい、その上で景品を渡すことを徹底するのであれば屋外イベントであっても実施方法を再考する必要がある。

アンケート回答者に抽選プレゼントについて

アンケート回答者の中から

・日本に居住地のある方（連絡先を正しく記載）
・有効回答をいただいた方

上記の条件を満たす10名を対象に、令和8年1月以降の発送予定にて認定銘柄豚の精肉もしくは加工品セットをお送りすることになっています。現在、当選者に対し、アンケート回答時に記載いただいたメールアドレスに連絡を入れ、回答が届き次第、プレゼントを発送します。
可能であれば、当選者の方に、届いた精肉もしくは加工品セットに対するご意見もしくは簡単なアンケートを依頼したいと考えています。
なお、個人情報保護の観点より当選者については当ホームページなどにおいて公表しないこととします。
※本件についてのお問い合わせはホームページお問い合わせフォームよりお願いします。

国産純粋種豚改良協議会 認定銘柄豚

登録第6533483号・6533484号